

## 令和7年度 第1回八幡地域協議会会議録（概要版）

日 時 令和7年5月27日（火）午後1時30分～午後3時30分  
場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室  
出席者 12名  
1号委員 池田 洋 島井 里美 佐々木 慶則 佐藤 敬二 小松 茂  
遠田 修 後藤 桂子 池田 修 御船 浩弥  
2号委員 信夫 効次 高橋 知美  
3号委員 池田 香  
欠席者 3名  
1号委員 池田 義則 加藤 隆子 小野 良文

八幡総合支所 支所長 齋藤 春樹、支所長補佐 齋藤 理博、門田 光弘、加藤 裕昭

議事日程 1 開 会  
2 委嘱状交付  
3 委員自己紹介  
4 会長、副会長互選  
5 会議録署名委員の選出  
6 報 告  
（1）市長報告会の概要について  
（2）令和7年度酒田市予算（八幡総合支所関係）について  
7 協 議  
（1）八幡地域協議会年間計画について  
8 その他  
9 閉 会

### 【協議の概略及びその結果】

今回は、令和6年度の市長報告会の概要、八幡地域関連予算に関する報告があり、今年度の地域協議会の年間計画について協議を行った。

今年度の年間計画については、今回を含め年4回の協議会を開き、2回・3回の協議会では、過疎計画について協議すること、4回目に委員から出された地域課題を取りまとめ、年度末に市長に報告することになった。

### 1 開 会

○事務局 地域協議会は、平成17年12月に、合併前の旧八幡・松山・平田の各支所単  
位に設置され、地域住民に意見を行政に反映させること、地域住民と行政との連携と協働

を推進することによりコミュニティ組織の育成、強化を図ることとされている。  
委員の皆様、これから2年間よろしく願います。

## 2 委嘱状交付

副市長より、各委員に委嘱状を交付された。(その後、副市長退出)

## 3 委員自己紹介

事務局、各委員の順で自己紹介を行った。

## 4 会長及び副会長互選

○事務局 池田義則委員、加藤隆子委員、小野良文委員の3名の欠席を報告。

「5 会長及び副会長互選」について

< 事務局 一任の声あり >

事務局一任との声があったため、今までの協議会の流れを熟知している、会長には信夫効次委員、副会長には小松茂委員にお願いしたい。

< 意義なしの声あり >

それでは、会長は信夫委員、副会長は小松委員に願います。

< 会長、副会長 それぞれ会長、副会長席へ移動 >

## 5 会議録署名人指名

< これ以降の進行は、会長が議長となり行う >

○副会長 会議録署名委員の指名は、委員が改選されたこともありますので、委員名簿の順に指名していきたいと思うがどうか。

< 意義なしの声あり >

○副会長 それでは、委員名簿1番の池田義則委員欠席のため、2番の池田洋委員を指名する。

## 6 報告

○議長 「(1) 市長報告会概要について」

< 事務局説明 >

○池田香委員 令和6年7月の大雨災害後、沢の復旧は現在も進んでいるのか。

○支所長 一つの例として、常禅寺の沢ノ内川では、住宅のある付近は市の土木課が工事を行っている。上流に関しては県の河川砂防課で行っている。砂防堰堤の確認も県で行って

いる。

○池田洋委員 沢の復旧に関する全体計画はあるのか。

○支所長 全体の計画はない。大小様々な沢があり、北青沢の家ノ前には、沢というより堰のような（小さい）ものがあるが、大雨になると（大きい）川のようになる。土石流が流れたとき下流では建物がだめになってしまった。現在は更地になっている。現状では把握できない、災害が起きないとわからないところがたくさんある。皆さんからも情報をいただいで現地を確認するようにしたい。

○議長 地域での災害地を全部調べたが、あまりにも多すぎて、どこから手をつけたらいいか、どこに相談したらよいかわからない。行政からは、きめ細やかな相談にのってもらえる体制をとってもらいたい。

○支所長 皆さんからは支所にお話しをしてもらいたい。数も多く時間もかかるが、ご了解をいただきたい。

○小松委員 荒瀬川復旧の設計はできたのか。

○支所長 設計は聞いた話だとこれからとのこと。確か今年に設計を組むと聞いている。そのために、どのような設計を組んでいくのかということで、地元の意見を取り入れたいとのことから県の方で動いているので、もしかしたら近々その意見を聞くような場を設けるというようなことがあるかもしれない。今のところ、地域住民の説明会ではなくて、プロジェクトチームのような、主要なその地域の住民の方から参加をさせていただいて意見をお聞かせ願いたいというような話を聞いている。

河川復旧工事は令和10年までの計画。現状復旧するというだけでは、被災後に対応できないのではないかとということで、県の方では復旧ではなくてさらにもっと、現状から悪いところを直す改良していくというような補助の事業を取り入れて工事をしていくというようなこと考えているよう。現状復旧ではなく、改良していくというようなこと。

○佐々木委員 設計はこれからとのこと、八幡保育園付近の土手の改修、河川の流れを少し変えるとか、その辺の進行状況はどうか。

○支所長 川なので下流の方もスムーズに水が流れないといけない。上流から下流までの工区の中で護岸の修繕の設計も必要。優先順位を上げてもらうように要望をしているが、いつから工事が始まるかはまだ決まっていない。

そのようなこともあるので、先日、八幡保育園の園長さんと打合せさせていただいた。今は仮復旧の状態なので、早めの避難をし、避難先を八幡総合支所として受け入れるという打ち合わせをさせていただいた。

入園されているお子さんの保護者の皆さんの思いもあって現在に至っているが、私達も心配している。環境はとていいのだが、大雨が降れば危険な場所が変わる。代替え地について地域の中であればよいのだが、適地がなければ話もなかなか進まない。子どもがいなければ地域の活力も下がるので、八幡の中に保育園を置きたいという思いでいる。

○佐々木委員 災害時、行政からの情報が遅いと不安になる。速やかな情報発信を望む。

○支所長 情報が入ってこないのが、皆さんの不安や不満につながる。今後も気をつけて対応していきたいと思う。

- 小松委員 災害時の防災ラジオでの情報発信について、あらためて説明してもらいたい。
- 支所長 防災無線だが、昔は個別受信機といってアナログ受信だった。各地区にピンポイントで放送ができた。今はデジタルに切り替えている。他自治体の先進事例を調べた結果、防災ラジオになった。電波に割り込んで強制的に電源を入れて放送するようになっている。ラップ（屋外スピーカー）は地域ごとに流すことはできるが立っている数は多くない。聞こえない、何を話しているのかわからないというご意見には、何とか解消したいと考えているが、難視聴地域があれば教えていただきたい。
- 御船委員 新出は聞こえにくい。
- 議長 かつて、難聴の地域を図式化してほしいと要望したことが実現に至っていない。昨年の災害では割り込み放送をしなかった。酒田市全域でも流してもよかったのではないかと思う。
- 小松委員 はじめての大きな被災経験なので割り込み放送の実施にまで手が回らなかったのかと思う。
- 議長 今後はマニュアルに沿ってしっかりと対応したらよいと思う。
- 支所長 防災ラジオが聞こえないといったことは危機管理課に伝える。
- 高橋委員 市のホームページのことだが、避難所に行くときにどこが開いているのか探すのに時間がかかった。手間なく該当ページにつながって情報が得られるようにしてほしい。
- 支所長 ホームページのことで、情報をスムーズにとれるようにしてほしいとの要望は危機管理課に伝える。災害があったときにどこに避難すべきか、公共の施設だけでなく、命を守るため、民間の空き家や自治会館など有効に使えるように危機管理で検討している。9月くらいにデータをまとめる取り組みをしている。
- 遠田委員 大沢のコミュニティセンターに食料品などがたくさんきた。しかし、地域の人に伝わらず、家に帰る途中に伝えて回った。食料も賞味期限があり廃棄もある。避難所に来た人でないとわからない情報をどうやって伝えるかも課題だ。
- 支所長 何日も避難が続くのは初めての経験だった。貴重な意見だ。
- 島井委員 情報については、屋外スピーカーも大雨で聞こえにくく、耳の良くないお年寄りには窓を開けて聞くなど苦勞があったと思う。

- 議長 「(2) 令和7年度酒田市予算（八幡総合支所関係）について」  
 < 事務局 説明 >  
 < 質疑なし >

## 7 協 議

- 議長 「(1) 八幡地域協議会年間計画」

< 事務局 説明 >

- ・次回は、8月下旬に過疎計画の新計画への登載事業等について開催する。
- ・それを受けて、11月下旬には、過疎計画(案)の提示がある。

- ・委員の皆様から地域課題を出していただき、2月の市長報告会への提言を行う。  
以上を説明。

< 質疑なし >

## 8 その他

< 質疑なし >

## 9 閉会

○小松副会長閉会